

◆2016年度より大学院看護学研究科修士課程看護学専攻に「ニューロサイエンス看護学」の専門分野を開講します。【2016年2月実施のⅡ期入試より募集開始】

「ニューロサイエンス看護学(Neuroscience Nursing)」は、脳神経科学分野の自然科学研究を応用しながら、全人的に神経系疾患患者の看護を追求する学問領域で、脳卒中、頭部外傷、パーキンソン病などの神経変性疾患による意識・運動・感覚障害をもつ患者の看護を専門とします。

「修士論文コース」は、研究手法を学びながら、脳神経分野の世界的に共通した研究テーマの探求を行い、現象の明確化と実践技術のエビデンス確立に努めます。

「上級実践コース」は、日本初の専門看護師を見据えたコース(※注1)で、脳血管障害患者、頭部外傷患者、パーキンソン病などの神経疾患患者を対象に、高度な実践の追究を実習と講義を交えながら学びます。海外には既に上級実践のニューロサイエンスナースが誕生しています。彼女達と意見交換、観察できる機会をカリキュラムに「海外演習」として組み入れ、学びを深めます。

修了時には、我が国のニューロサイエンス看護学の確立に貢献できる人材を期待しています。また、脳神経系の臨床看護の質を向上させるための調整力、指導力、倫理観、研究能力をもった上級実践者に育ててほしいと考えています。

なお入学前に修士論文コースでは3年以上、上級実践コースでは5年以上の臨床経験が必要と考えています。志願を希望される方は、必ず出願前に下記指導教員に連絡して受験前相談をして下さい。

⇒募集要項・願書等はこちら↓

http://university.luke.ac.jp/admission/grad_admissions/application/master.html

【連絡先：大久保暢子 E-mail : nobu-okubo@slcn.ac.jp】

※注1：現在、日本看護協会の専門看護師(CNS)特定分野にはなく、今後申請予定です。